



心を込めて
「おいしくな一れ！」

相和幼稚園にて



大井町 議会だより

第4回定例会 P 2
条例案や補正予算案を可決
一般質問 ここが聞きたい P 6
9人が町政を問う！
委員会活動報告 P11
活動方針を決定

町のこの人あの人 P12
クラシック音楽を聴いてみませんか
河原地区
み たけ よしみち
三武 好道 さん

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

22年ぶりの使用料見直しを可決

生涯学習センター及びそうわ会館の 施設使用料を40%～50%値上げ

第4回定例会
12月5日～11日

会議内容

条例 4件
補正予算 6件
規約の変更 1件
人事 2件
ほか

条例

大井町国民健康保険税
条例の一部を改正する
条例（賛成全員）

*保険財政の安定化を図るため、税率の引き上げを行うもの

問 昨年のシミュレーションよりも値上げ率が

少なくなくなった要因は

答 基金の保有額を勘案し、加入者の負担を考慮して決定した。

問 令和7年度の国民健康保険税の歳入見込

み額は。
答 現年度は3億2700万円を見込んでいる。

大井町生涯学習センター条例の一部を改正する条例
(賛成9反対3)

*社会経済情勢や受益者負担の観点から、使用料の改定を行うもの

問 今回値上げに踏み切った理由は。

答 歳出に占める歳入の割合が年々減少している。また、施設維持管理費も今後必要となるため。

問 指定管理にする考えは。

答 検討していない。

規約の変更

足柄上衛生組合の規約の変更について
(賛成全員)

*足柄上衛生組合において、ごみ処理施設の設置及び管理を共同処理するため、規約を変更するもの

問 負担金の算出方法は。

答 協議会の事務費は均等割、人件費は人口割で、各種委託費は均等割が12%、人口割8%である。

問 令和7年度における大井町の負担額の予想は。

答 現在予算編成中で、3月の予算で報告する。

指定管理者の指定

大井町農業体験施設指定管理者の指定について
(賛成全員)

*指定期間が終了となることから、新たに指定管理者の指定を行うもの

問 今後、施設の拡充

や事業を充実させる予定は。

答 指定管理者と協議を進めながら、新たな付加価値をつけた施設の運営を検討していく。

補正予算

一般会計補正予算(第9号)
(賛成全員)

*歳入は、各種補助金の交付決定額等の増減額を計上。歳出は、職員給与費等の増減額や災害復旧に関わる事業費等を計上

問 消防費収入の無線事業違約金は契約の条

項によるものか。

答 無線サービス終了を想定していなかったため、契約にはない。

問 事業者からの提示額を受領しても問題ないか。

答 金額は損失状況を基礎としており、検討

の結果、受領することとした。

問 障害者自立支援給付費6000万円の増額要因は。

答 放課後等デイサービスをはじめ、受給者数と利用回数が大きく増加したため。

問 共生社会の実現を踏まえた予算の展望は。

答 給付費は令和5年度から急激に増加している。今後とも動向を注視していく。

人事

大井町金田財産区管理会の財産区管理委員の選任について同意を求めること(賛成全員)

*財産区管理委員の辞任により、後任の選任をするもの

藤澤 一郎氏

(新任 金手)

第4回定例会

大井町副町長の選任について同意を求めること（賛成6・反対6）

【議長採決により同意】

*副町長の辞任により、後任の選任をするもの

田村 俊二氏
(新任 西大井)

選挙

南足柄市外五ヶ市町組合議会議員の選出について（賛成全員）

*任期満了により、後任の選出をするもの

藤澤 一郎氏
(新任 金手)

松田町外三ヶ町組合議会議員の選出について（賛成全員）

*任期満了により、後任の選出をするもの

藤澤 一郎氏
(新任 金手)

松田町外二ヶ町組合議会議員の選出について（賛成全員）

*任期満了により、後任の選出をするもの

藤澤 一郎氏
(新任 金手)

諸星 光浩氏
(新任 金手)

大澤 健久氏
(再任 西大井)

下澤 豊氏
(新任 西大井)

意見書

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書について（賛成全員）

*国に対する意見書の提出を可決



教育福祉常任委員会による審査

陳情第1号「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを要望する陳情書」は採択すべきと決定

主な質疑

- 問 ジェンダー平等な社会を築くためには、他にも課題があるのではないか。
- 答 様々な課題は認識しているが、早急に解決すべき課題として、本制度の導入が求められる。
- 問 現状では、どのようなキャリアへの影響があるのか。
- 答 研究論文をはじめ、戸籍名に限られる場面があり、改姓に伴い業績が断絶されることがある。
- 問 選択的夫婦別姓制度を導入した場合の課題は。
- 答 子どもの苗字の取り扱いが大きな問題であると感じている。
- 問 選択的夫婦別姓制度を導入することで、社会生活が大きな転換を迎えると思うが見解は。
- 答 婚姻にあたり約95%の女性が改姓を強いられている。影響の大きさも理解できるが、別姓を希望した方の意思を尊重すべきと考える。

議案第71号「大井町生涯学習センター条例の一部を改正する条例について」及び議案第72号「大井町立そうわ会館条例の一部を改正する条例について」は可決すべきと決定

主な質疑

- 問 値上げによって稼働率が低下すると予想されるが対策は。
- 答 駐車場が完備されていることなど施設のメリットを活かした運用に努める。
- 問 生涯学習センターの今後の稼働率の目標は。
- 答 50%を目標としている。
- 問 値上げの前に、維持管理費の削減努力をすべきではないか。
- 答 維持管理費は人件費や委託料などであり、削減は難しい。サービスを維持するための措置である。
- 問 そうわ会館では、過去の推移から施設の稼働率が低下しているが、その要因と対策は。
- 答 夜間の利用が減少しているためであり、今後の課題である。
- 問 令和7年6月から改定する理由は。
- 答 使用料の改定であるため、十分な周知期間を設けるべきと考えた。

議員討論

大井町生涯学習センター条例の一部を改正する条例について、本会議では、重田有紀議員の反対討論、鈴木磯美議員の賛成討論がありました。

反対討論

重田 有紀

値上げの前に稼働率upの施策を

今回の改正は、維持管理費増を理由に長年据え置かれていた使用料を40%～50%割値上げるものである。このような大幅値上げで最も懸念するのは町民活動の衰退である。協働のまちづくりを掲げながら、事前に町民から意見聴取をする等の機会さえ設けられていない。値上げが避けられないとしても、施設整備や利用ルールの緩和等、町民に納得してもらえだけの案が同時に示されるべきである。値上げをしても歳出に占める歳入の割合は僅か17.24%、増額分214万円程度と維持管理費を補填するには十分とは言えない。稼働率も目標の50%に程遠い現状を見ても、値上げの前にできることは他にあったはずである。町民に直接的な負担を強いいる際は、その心情に寄り添った提案の仕方を期待し反対討論とする。

賛成討論

鈴木 磯美

社会経済情勢及び受益者負担の観点から、値上げはやむなし

生涯学習センターにおいては開設から36年が経過し、施設の老朽化に伴う改修工事及び設備機器の更新等にかかる費用は年々増加し、令和5年度の施設維持管理費は約4300万円にまで増加している。使用料が40%～50%増額と数字のみを聞くと大幅な値上げに聞こえるが、今後も施設の老朽化が進み、改修工事や修繕、設備機器の更新等が見込まれ、町の負担がさらに増えるものと推察され、妥当な算出と理解する。公共施設は営利目的ではないことは十分理解するが、現在の社会経済の情勢や利用する人の受益者負担の考え方や公平性を考えると値上げもやむなしと考える。

利用稼働率を上げるための更なる努力や減免要綱も必要に応じ見直すなど、施設の延命に期待し、賛成討論とする。

第4回臨時会

11月18日

会議内容

条例 3件

専決処分の承認 1件

条例

大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）

* 人事院勧告を勘案し、職員の給与を改定するもの

問 官 民 格 差 が 11183円（2・76%）とのことだが、全体的に引き上がらないのか。

答 採用市場での競争力向上のため、初任給を大幅に引上げ、かつ若年層に特に重点をおきつつ、すべての職員

を対象に引上げている。

大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例（賛成多数）

例

* 被保険者証が廃止されることに伴い、罰則規定を改正するもの

問 罰則条項の改正であるが、今まで適用されたケースはあるか。

答 保険税滞納者が保険証を返還しなかったケースを含めて、罰則を適用した例はない。

問 12月2日以降は資格確認書の発行になるのか。

答 マイナ保険証を使用しない方は、現在発行している紙の保険証を使用していたが、令和7年7月末日で切れるため、8月以降は事前に送付した資格確認書を使用することとなる。

問 マイナンバーカード保有率74・6%の約半数の方が保険証との紐づけをしていないとのことだが、登録はどう進めるのか。

答 大型店舗への出張登録サービスや広報等で周知していく。

一般会計補正予算（第8号）（賛成全員）

* 衆議院議員総選挙等の執行に伴う経費を計上するもの

問 投票所借上料は、1か所7000円とのことだが、毎回、自治会と調整しているのか。従来からこの金額なのか。

答 ここ数年変えていないが、借上料のあり方については今後検討していきたい。

専決処分の承認

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対 欠は欠席
伊藤奈穂子議長は、採決に加わりません。

臨時会の別	議案番号	議案名	議員名（議席順）と審議結果	笠井裕太	諸星光浩	鈴木武夫	大石舞	黒岩陣太郎	重田有紀	和田紀昭	山崎真弘	岡田幸二	鈴木磯美	牧野一仁	清水亜樹	審議結果
第4回臨時会	65	大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	66	大井町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	67	大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	68	専決処分の承認について (令和6年度大井町一般会計補正予算（第8号）)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第4回定例会	69	大井町税条例の一部を改正する条例について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	70	大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	71	大井町生涯学習センター条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
	72	大井町立そうわ会館条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	73	足柄上衛生組合規約の変更について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	74	大井町農業体験施設指定管理者の指定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	75	令和6年度大井町一般会計補正予算（第9号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	76	令和6年度大井町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	77	令和6年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	78	令和6年度大井町介護保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	79	令和6年度大井町水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	80	令和6年度大井町公共下水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	81	大井町金田財産区管理会の財産区管理委員の選任について 同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	82	大井町副町長の選任について同意を求めること *可否同数により議長採決		○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	同意
	83	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 1		選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを要望する陳情書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

1市5町合同研修会報告

令和6年11月7日に南足柄市議会・足柄上郡町村議会合同研修会にて伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設「クリーンセンタ―いず」の施設の視察を行いました。82トン／日の処理能力を持つとのことですが、処理方式はスト1カ式焼却方式で、能力算定には2市の可燃ごみ量及び可燃災害廃棄物の年間量から割り出したそうです。ごみ処理施設の広域化を目指して2市7町1村で協議会を設立しましたが、市町の脱会、負担金割合、候補地、ごみ分別方法の違いなどを理由に解散したそうです。その後、伊豆市と、伊豆の国市で組合設立準備会の



設置後、廃棄物処理施設組合を設立し共同処理に至ったとのこと。施設候補地は検討を進めたが合意に至らず、「広域一般廃棄物処理施設のあり方市民検討会」にて施設のあり方について検討し、公募期間を経て伊豆市佐野区に決定されました。この事例からも住民と一緒に検討し計画していくことが早期の建設につながると思いました。（諸星光浩）



くろいわじん たらう 議員
黒岩陣太郎

Q

上大井駅舎の今後の展望は

A

利活用について
詳細に検討する

Q

まちづくりの
長期的構想について

A

20年先を想定した
おおひ都市マスタープラン
が基となる



おかだ こうじ 議員
岡田 幸二

問 JR東海との現在の協議状況は。

町長 令和4年8月にJR東海静岡支社より駅舎の老朽化により建て替え工事を検討している旨の報告があった。

どの意見が多かった。まず耐震診断を実施し、補強にかかる費用を算出して判断したい旨をJR東海に伝え、了承された。

問 今後の駅舎の利活用は。

町長 関係各課で詳細

その工事内容は現在の駅舎とトイレを取り壊し、バスの停留所のような簡易駅舎にするという提案で、町側の意見を聞きたいと申し出があった。町として検討した結果、通勤通学のための利用やハイカーにとってトイレがないのは死活問題となるとの意見や、歴史等を鑑みると町の玄関口である駅舎を保存しながら利活用できないかな



利活用が検討されている
上大井駅舎

な検討を開始し、今後、町民や来訪者のニーズを捉えながら有意義で有効な活用を図ることができるよう、進めていきたい。

【移住・定住促進と関係人口の創出について】

問 ノマドワーカーを誘致する考えは。

町長 テレワークの拡大、ワーケーションの活用などの働き方の選択肢も拡大していることから、田舎暮らしを満喫しながら都心部へのアクセスのよい町として、移住先を選ばれるようPRを進めていきたい。

問 2016年に改定したおおひ都市マスタープランは2036年を想定した計画であり、12年後の姿と考えるが、そういうことになるが、将来の指針を示したもので、具体的には総合計画の中で実行に移されていく。

課長 そういうことになるが、将来の指針を示したもので、具体的には総合計画の中で実行に移されていく。

問 町民はマスタープランを町の方向性として捉え、また、期待している。少子高齢化の進行が骨格的な課題として掲げられているが、現状はどうか。

課長 大井中央土地区画整理事業など様々な施策を講じる中で、人口の維持・向上を画策しているが、将来的に

人口減は避けられない。業機能強化の考えは。

問 分野別課題として、人口減少の進展を見据えた土地利用の検討として新宿・西大井地区の都市的土地利用への転換とあるが。

課長 現状厳しいが、方針は変えずに引き続き県と協議を進めていく。

問 幹線道路沿道の商



工事が進む金子開成和田河原線
(新宿付近)

問 丘陵部の人口減少対策、集落の活性化は。

課長 農業体験を含む交流体験事業を通して集落の維持・活性化を図り、関係人口を増やしていきたい。

大井町 認知症ガイドブック

～認知症と共に暮らすための進めるべ～
令和6年7月1日発行



町で配付している
認知症ガイドブック

町では自主防災組織リーダー研修会や防災講演会を開催している。引き続き多くの方に研修会に参加して頂き、地域防災力の底上げを図っていく。

問 認知症高齢者家族支援の現状と課題は。
町長 町では認知症カフェ、認知症家族のつどいを開催しており、引き続き、認知症になっても安心して暮らせる社会づくりの啓発と事業の充実に努めている。

問 介護人材確保に向けた取り組みは。
町長 介護の仕事の魅力を発信し、介護職員の普及啓発に向けた取り組みとして介護フェアの開催を行った。今後も充実した介護サービスを推進するために、関係機関と情報交換を行い、人材不足の状況に注視していく。

問 各自主防災組織の取組みと課題は。
町長 「自分たちの町は自分たちで守る」という意識で防災対策に努めることは重要であり、町では自主防災組織リーダー研修会や防災講演会を開催している。引き続き多くの方に研修会に参加して頂き、地域防災力の底上げを図っていく。

問 移住定住に向けた今後の方針は。
町長 広域での取組みの相乗効果で増加につなげていく。空き家を活用した移住定住促進についても検討している。

問 交通安全対策について。
町長 高齢者が関係する交通事故の現状と対策は。

問 免許返納者に返納パスを支給する考えは。
町長 無料乗車証を交付する制度構築に向けて議論を進めていきたい。

問 自転車の安全な乗り方大会への参加状況は。
町長 4年ぶりに再開されてから2年間不参加となっている。令和7年度は中止が決定している。その後の開催は不透明だが小学生に交通規則や交通道徳を学ぶ機会が必要である。要望があれば実地で学ぶ機会も提供したい。



やまざき まさひろ
山崎 真弘 議員

A

地域全体で認知症本人や
家族を支援していく

Q

認知症高齢者家族支援は



すずき いそみ
鈴木 磯美 議員

A

荷物の整理や改修等への
補助の検討を進めている

Q

空き家の所有者又は
利用者に対する
改修費補助の考えは

農ある暮らしの推進により入居が決まった空き家



に努め、関係課と情報共有している。発生し

問 交通危険箇所を再確認する考えは。
町長 把握と情報収集に努め、関係課と情報共有している。発生し



まい 大石 舞 議員

Q インクルーシブ教育の
本町での成果は

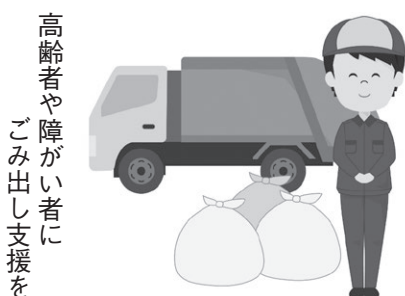
A ユニバーサルデザインの
授業づくりや校内教育支援
センターを設置している

問 インクルーシブ教育の取組みの課題は。
教育長 通常級の担任を含めた教職員の研修が必要。常に通常学級をホームとして考え、つながりを意識した学びの場の選択ができるようにしたい。
問 就学先の決定について、人権モデルに即した見直しが必要では。子ども自身の意見を反映させた就学先決定のシステムについて、現状と今後の対応は。
教育長 保護者と就学相談をする中で、子どもの思いも聞くようにしている。
問 教育委員会の中で、本町でのインクルーシブ教育の推進状況についてどのような議論をしてきたのか。
教育長 具体的な議論にまで至っていないが、今後協議する必要があると認識している。
問 今後、障害のある子どもが通常級を希望した場合、状況に応じた介助員や会計年度任用職員は配置されるのか。
教育長 必要があれば人数の拡充も視野に入れて検討する必要があると認識している。
問 保育所等訪問支援について、他課と連携し積極的に周知する必要があると考えるが。
課長 庁内各課と連携



インクルーシブ教育推進、
子どもたちの人権尊重を

問 高齢者や障がい者のごみ出し支援サービスは今後、行政対応が必要と考えるが。
町長 福祉課と生活環境課が情報共有し、課題や仕組みづくりについて研究していく。
問 社協の生活応援隊のごみ出し利用者が、年々増加傾向にあるが、町の見解は。
課長 アンケートを行い、課題があることは認識している。
問 環境省による特別交付税措置を利用する考えは。
課長 現在は検討していない。
問 後期高齢者に対する人間ドック補助金を100歳を目指すとい



高齢者や障がい者に
ごみ出し支援を



わだ のりあき 和田 紀昭 議員

Q ごみ出し支援サービスの
対応は

A 課題や仕組みづくりを
研究する

問 行っていないのは1市5町で、大井町と山北町だけである。町の考えは。
町長 しっかり精査した中で結論は出したい。
問 現在、後期高齢者の健康診査の委託費の金額は。
課長 38000円強を町から医療機関に支払っている。
問 金額だけ見れば、町に負担はかからないと思うが見解は。
町長 金額だけならそういう勘定になる。
問 第9期高齢者保健福祉計画のアクティブ85は、85歳を元気で迎えて笑顔あふれる100歳を目指すとい

馬場地区の危険箇所



問 町道18号の金田堰は暗渠になっていない箇所が残っているが、延長工事を行うか。

課長 計画はないが通学路が絡んでいれば点検し、検討の通路に上げていきたい。

【事故多発交差点の対策は】

問 町道2号線と優先度が同等の道路の交差点には停止線がないため事故が多発している。今後の対応は。

町長 道路標識や全体ライン、道幅などで優先する道路を確認できないような交差点では左方の車が優先となる。道交法第36条にも明記されていることであり基本的にはこのルールを守り、安全確認を行い見通しが悪い場合は徐行や停止するなど、交通規範意識を持ち歩行者等に十分に注意して運転をしていただきたい。これを前提とし

ても、事故対策としてカーブミラーや注意喚起の看板を設置している。警察にも一時停止の規制を依頼しているが、何らかの対策を講じていく必要があると感じている。

問 停止線ではないが点線塗装がしてある箇所があり事故防止につながっていると思うが、ここに点線を引くことはできないのか。

課長 その点線は数年前に引かせてもらったが、警察の見解では法的に定めたものでなく、それによって優先と勘違いしてしまうため既に消したところもある。

問 全ての事業は協働のまちづくりの指針に基づいて進められるべきと考えているか。

町長 行政でしかできない事業もある。例えば道路建設等は協働の考えでは行っていない。

問 児童コミュニティクラブを含め学校も協働の担い手としてガイドラインに位置づけられていることから協働事業だと思うが。

町長 行政が運営する際は協働から離れる。児童コミュニティクラブは決して協働の場ではない。

問 自治会未加入世帯へ広報誌配布等がされていないが、情報提供



町民と町民活動団体と町の協働事業

のあり方を問題視しているか。

課長 自治会加入未加入によらず、情報提供や共有の公平性は重要である。

問 広報誌全戸配布は。試行的導入に向けて検討する。

【町民のための公共施設のあり方について】

問 生涯学習センターの使用料不還付は町民活動団体には障壁であり、これを緩和するため町民活動団体に限り使用料前納を免除しては。

課長 不還付は、むしろみなキャンセルを防止する目的があるが、利用できなかった場合は1回限り振替ができるよう対応している。

問 入場料を徴収する際の使用料加算について、物価高騰等の世情を鑑み改定すべきでは。

課長 一定の加算基準は必要である。



もろほし 諸星 光弘 議員

A

水路改修計画もあり
早急に検討する

Q

水路の早急な転落防止策は



しげた ゆき 重田 有紀 議員

A

全ての事業の
一丁目一番地である

Q

協働のまちづくりは
本町の一丁目一番地か



清水 亜樹 議員

Q

町広報誌の配布を

民間委託に

A

今後ポスティングまで
つなげていけるよう検討

問 現在の自治会加入率の状況は。

課長 令和6年4月1日現在66・8%である。

問 加入率の推移と近隣市町の状況は。

課長 この5年間で約8・9%減少しており、足柄上地区1市5町で2番目に低い状況。

問 加入率の状況をどう捉えているのか。

町長 極端に言うともしくは、なくなってもしやうがないと思うが、

結局は住民が困ること。そうならないよう町としてできることを行っていく。

問 自治会の負担軽減として、町広報誌の配布を民間委託すべきと考えるか。

課長 まずは、発行回数を減らすことから、今後ポスティングまでつなげていけるよう検討する。

問 自治会担当職員制度がうまく機能しているのか。

町長 来年度は、ほぼ定員の入所人数が予想され、夏休み期間のみの希望者の対応が困難となる可能性等がある。

自治会での
美化活動の様子



課長 選択肢の中にあるのは事実である。

問 おおい児童コミ施設のあり方として、小学校の敷地に建設することは。

町長 来年度は、ほぼ定員の入所人数が予想され、夏休み期間のみの希望者の対応が困難となる可能性等がある。

令和6年度

自治功労者表彰式・町村議会議員研修会

11月19日、本町生涯学習センターにて町

議員研修会が開催され、

常滑市副市長である山田朝夫氏を講師に迎え、「共創」の重要性を証明する成功事例として「ごみ減量化推進市民会議」「新常滑市民病院」「常滑新市庁舎を

考える会」の3つが紹介されました。

山田氏は、可燃ごみが20%減れば、年間2000万円程度の効果、ごみ袋有料化（1袋50円）すれば、年間6000万円程度の効果が

見込めると試算し、そこから生まれた経営

改革の取り組みを実施し、8年間で20億円以上の増収を実現しました。

常滑市旧庁舎は、安全面での課題があり、全面的な建て替えを求め、市民への質問を通し「建替え」を求める声が多数あり、市民が求める庁舎のロケーションなども分かりました。結果、令和4年1月に新庁舎は完成し、市民に愛されています。

行政とは地域一体となつて作り上げるものであることを強く再認識させられる講演でした。

（笠井裕太）



常任委員会等が 活動方針を決定

企画経済常任委員会

町民との協働による
防災まちづくり

本町が位置する神奈川県西部は大地震の発生周期が70年と言われるなか、さらに30年近く経っている。また、近年の異常気象は想像を絶するものがある。災害への備えは人任せにはできない。いつ起きるかわからないからこそ、今からはじめられるよう準備を整えていく必要がある。キーワードは協働。コミュニティの結束・強化を踏まえた防災、危険箇所の把握、生き延びるための備蓄の考え方など、DXを活用した実効性のある対策を調査研究する。

教育福祉常任委員会

これからの教育に
求められること

教育において、広い視野を持つて異文化を理解し、国際社会において自分の考えや意思を表現できる外国語能力の基礎や表現力の育成は重要であり、本町における外国語教育、文化交流事業の現状について調査する。

また、より良い教育環境を築くためには、地域社会との連携が不可欠である。豊かな学びを得ることができただけでなく地域全体の活性化にもつながることから、その現状について調査する。

広報広聴常任委員会

【広報分科会】

(1)議会だよりの編集等
議会広報について

町民の皆様の開かれた議会を心がけ、情報を分かりやすく、読みたくなる紙面づくりに取り組んでいく。さらに町民目線で編集内容等の見直しを行い、色々な方向からアプローチし、より良い紙面づくりに取り組んでいく。

(2)デジタル技術を活用した情報発信の拡充について

議会中継については、概ねの方向性が定まり、今後は運用方法等について議会運営委員会に引き継いでいく。また、デジタル技術の活用を研究し町民の皆様が知

りたい情報発信に取り組んでいく。

【広聴分科会】

広聴活動の充実について

町民の皆様の生の声を聞くための「ぎかいCafe」や議会を身近に感じて頂くための「議場体験ツアー」について、開催時期や場所、対象者等を研究し、多くの方が参加して頂けるよう取り組んでいく。

議会運営委員会

議会を円滑に効率的に運営するために、定例会及び臨時会の会期・日程や内容、会議規則、委員会に関する条例など、議会運営全般に関わる事項、また議長の諮問に関する事項の調査研究に取り組んでいく。

11月26日に議長より、議会改革の一環として次の2項目の諮問があった。

(1)議会におけるICT機器の導入について

(2)議員のなり手不足対策について



ぎかい Cafe

町のこの人あの人

クラシック音楽を聴いてみませんか



河原地区
三武 好道 さん

「大井町でクラシック音楽を聴く会」の代表として活動されている河原在住の三武好道さんを紹介します。

●三武さんは横浜市出身。ご家族の仕事の関係で大井町に住み始めて約50年になります。
●仕事先が横浜であったこともあり、あまり地域との関わりが少なかったそうです。現役を引退し地域のために自分に何かできることがないかを考え、若い時からクラシック音楽に親しんでいたことや友人にNHK交響楽団のチェロ奏者がおり、

ピアノリストの伴奏で独奏し、モーツアルトやハイドンの弦楽四重奏やホルン五重奏を演奏しました。演奏者のトークも楽しみのひとつです。

●最後に「クラシック音楽を生演奏で聴く機会には少ないと思います。大井町の多くの方にクラシック音楽のファンになっていただけたらと願っています。次回も開催予定ですので楽しみにお待ちください。」と笑顔でおっしゃっていました。



N響メンバーによる演奏

お詫び

議会だより第221号(P4)に掲載した写真に誤りがありました。キャプションには、「おーい！元気会」とありますが、掲載した写真は、河原のおしゃべり会の様子となります。ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

議会だよりへの意見募集

より分かりやすい広報誌とするため、町民の皆様の声を募集します。応募は、電子メール(gikai@town.oi.kanagawa.jp)、郵送、持参、FAXのいずれかでお願ひします。様式は任意で結構です。

町政を知る良い機会です
議会傍聴にお越しください！

第1回定例会開催
3月4日(火) 午前9時
問合せ先：議会事務局
☎85-5000 FAX 83-3936

編集後記

本年は巳年、乙巳(きのとみ)と言われる60年に1度の特別な年に当たり、新たな成長や変化が期待されるタイミングと言われています。議会でも町民の皆様により身近に感じ取って頂けるよう、改革に取り組んで参ります。

第4回定例会では、町政全般に対して、活発な議論が交わされました。この様子を伝える広報分科会の委員も新体制となり、編集作業に鋭意取り組んでおります。今後とも、町民の皆様には正確で分かりやすい広報誌となるよう、努めて参ります。

山崎 真弘

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

委員長 鈴木 磯美
副委員長 大石 舞
委員 岡田 幸二
委員 山崎 真弘
委員 和田 紀昭
委員 重田 有紀
委員 笠井 裕太